



平成20年7月15日

8面	7面	6面	5面	4面	3面	2面
声・視点・ペン草	こどもの詩・俳句・短歌	ひと・すぼと	スポーツ	さつきと蓼太花の句展	女団連記念講演	お産シンポジウム
					大島上部・上町合併調印式	まつかわ寄席



まつかわ百景 ②「ブルーベリー」

少し前までは、どこか遠くで栽培されている果物という印象だったが、今ではあちこちで、美しいブルーの果実を目にするようになった。
(上町 森谷岩夫さんの圃場)

20年度松川女性団体連絡会の会長をやらせていただき、ます清水です。よろしく御願ひ致します。

松川町女性団体連絡会は、11グループが仲間になっています。各グループは個々の分野、立場で学習や、活動を行っております。

それらのグループが横の連絡を取りあい、協力しあつて女性パワーの拡大につとめております。

6月23日総会が行われました。町や公民館の行事や講座に参加協力をしながら、女性団体独自の講座も計画し、多くの皆さんに呼びかけていきたい。こんなことが決定されました。

昨年は男女共同参画地域フォーラムが松川町で開催され大変にもりあがりました。今年には波田町で開催されます。その時バスを出してもらい多

主張

松川町女性団体連絡会より

くの人に参加してもらえたらと考えています。

総会に吉田豊先生の講演がありました。

いろんな分野への女性の進出をと言われておりますが、あの会、この会出てきている

顔は皆同じ顔である。確かにその通りです。

当職「あてしよく」といって、会長になるといろんな会合に、審議会にと出席することになります。

今年一年私もそんな立場になるだろうと、吉田先生の言葉に耳が痛かったわけです。この当職というのは、何とかならないものでしょうか。

3年も継続する審議会に、一年毎に変わる者を当職ということで送出するもの、どうかと思いますがいかがなものでしょうか。

松川町女性団体連絡会

会長 清水稔子

「ちりとてちん」も披露

まつかわ寄席

「落語を楽しむ」毎年恒例の公民館まつかわ寄席が、6月15日(日)に中央公民館で開かれました。今年で7回目を迎えたまつかわ寄席ですが、今年も1回目から連続して登場している、落語家・昔々亭健太郎さんの落語を聞きました。例年と同じく、高齢者クラブの高齢者講座と共催で開催、大勢の人たちが足を運びました。

今回は、NHK朝の連続テレビ小説のタイトルにもなった「ちりとてちん」という斬も披露されました。ちりとてちんというのは、腐った豆腐に様々な調味料を混ぜ、とても食べられたものではないものなのですが、それを「自分は食通だ」という男に対し無理やり食べさせてしまおうと企てる話です。ちりとてちんという名前はその場でとっさに思いついた名前。それを「中国の食べ物で、いただいたものだが食べ方がわからない。食通のあなたなら食べ方がわかるだろう」と嘘をつき男に

食べさせます。本当はちりとてちんなどという食べ物はありません。男がその食べ物を知っているはずありません。知ったかぶりをする男と少し意地悪をしてやろうという男とのやり取りがユニークなおはなしでした。

昔々亭健太郎さんは駒ヶ根市出身です。駒ヶ根市では5年連続で健太郎さんの寄席を開いているそうですが、松川町では7年連続で開いており、健太郎さん個人にとって、まつかわ寄席がもっとも長く続いている寄席です。そんな縁のある松川町で、健太郎さんは今年もあたたかくお話を聴かせてくれました。



年々腕も上げています！

会場を埋め尽くす受講生の拍手、そして軽快な「のど自慢のテーマ」：お馴染みの曲とともに宮川泰夫氏が爽やかな笑顔で登場。

のど自慢は昭和21年1月19日、ラジオで始まった。戦後民主主義の象徴「マイクを民衆に解放するための番組」として。以来63年。老若男女、富めるものも貧しき者も、誰もがマイクの前では平等だ。

のど自慢は休まない。年末年始を除く年間50回の日曜日、日本のどこかで誰かが熱唱し、鐘が鳴る。宮川さんは、司会を務めた12年間に60ヶ所の街を訪れた。日本全国、時には海外へも飛んだ。

歌うのはアマチュアの皆さん。どんな結果が出るのか、やってみなければわからない。さて宮川さん、朝のニュースからのど自慢へ異動が決まったときは内心嫌々だったという。「これまで私を通して世界を知らせてきた：なのに今度はこの自慢！世間！」そんな宮川さんを変えたのは：

湯布院で出会った87歳の薫さんは当時最新の演歌を見事に歌い上げた。「老人ホームの歌姫」の誇り故の日々の練習の賜物である。

「青春の門」舞台の町の「八百屋のまつつあん」は脳梗塞で左足と言語が不自由だったが、2ヶ月の猛練習をして出場。その楽しそうに歌う姿は審査員の心を捉えた。

北海道追分町では中国残留孤児を母に持つ雪梅さんが、町の人に教えてもらった日本語で「北国の春」を歌った。お世話になった人々への恩返

今年も開講

まつかわ大学

し。真心の一曲である。

「人はなぜ歌うのですか？」ある日宮川さんは作詞家の五木寛之さんに問うた。「それは人の心の栄養というのでしょ」：香川では制服を今風に着崩した高校3年生が演歌「男の背中」を歌った。鳴った鐘は2つ。半年前になくなった校長先生が大好きな歌だった。それを聞いたゲストの冠次郎



講師の宮川泰夫氏

さんは「この少年の心に合格の鐘を鳴らしたいね」と言っただ。すると会場に高らかに合格の鐘が鳴り響いたのである。：人生の肩書きや身なり世代の違いなど関係なく「心の栄養」のやりとりはできるのだ、と実感した瞬間であった。

「のど自慢」は「からっぽの箱」。その町に住む人がそこに詰め込むのだ。お客様に作ってもらっている番組だからこそ、長続きしてきた。

宮川さんは言う「世界は私の前を通り過ぎていったが世間は私の血肉となった」また「人本来の暮らしは地域にあり、都会は浮遊している」とも。そしてもう一つ。のど自慢は人生のハイライトシーン。人が嬉しそうに幸せにしている時を共に出来る幸せ。：終始微笑み絶えぬ講演が終わり、退場する宮川さんを聴講生はいつまでも盛大な拍手で送っていた。

お産について

「子どもがいつぱいの地域づくりを目指して!!」

心あるお産を求める会主催によるお産のシンポジウムが6月15日(日)に町民体育館で開かれた。飯伊は産婦人科医が少なく、関心が高まっている為、妊婦の方、夫婦や家族で来られる方など多くの人が訪れた。

初めにお産を求める会の活動報告の発表があり、これからもたくさんの方の幸せのために母親としてできることを伝えていきたいと話があった。

基調講演では、東京都のパーソナルトレーナーの大葉ナ



講師の大葉ナナコさん

ナコさんを講師にむかえ「案ずるより産むが優し」をテーマに、2男3女の母親である



お産について話しあう

大葉さん自身の経験や会社に来る相談、日本や世界の出産に関わる現状などを話された。いいお産とはまた産みたいと思えるようなお産で、最善を尽くしたお産であればどのよう結果でも人として母親として強く優しくなれる。新しい人生の持ち主である赤ちゃんの生まれる力を活かすために夫婦で力を合わせ幸せなお産をする責任を持つことが必要。そのためには家族や専門家のサポートも重要である。産む女性たちは知識を得、判断力をつける。おまかせにしない、セルフケアをするなど最善を尽くす。日本が世界

で一番優しい「お産の国」となり、命は大切、と伝承でき次世代も優しく出産できる社会になっていってほしいと話された。

続いて「共に歩むお産」地域の産科の現状とこれからをテーマにパネルディスカッション

女性団体連絡会総会記念事業 私がかわる←→あなたがかわる 吉田 豊氏

6月21日 (月)松川町資料館視聴覚室において、松川町女性団体連絡会総会が開かれた。町内11団体の参加で総会が行われ記念事業として同朋大学講師の吉田豊氏の講演をお聞きした。

講師の吉田氏は40年前に泰阜村の学生村体験をされ、美しい自然の下伊那郡と関わりもたれたそうである。現在は松川と名古屋を行き来される生活をおくられているそうだが、都会には3間が無いと言われた。3間とは「時間」「空間」「人間関係」なるほど、と納得でき

ションが行われた。地域一丸となって新しい体制を組んだり勉強をして前に進んでいかなければいけないなど討論が行われた。参加者からも多くの感想や質問が出され、有意義なシンポジウムとなったのではないかと。

吉田氏は松川町に住まわれたという縁から、松川町男女共同参画条例制定の審議にかかわられた。男女共同参画は歴史的な事件で、数千年来の課題に取り組むこと。

日本では、男女平等の雇用機会均等法の制定から具体的な数値目標の制定など参画が進みつつあるが、…共同は、男性の意識の遅れから、まだまだのようだ。

吉田氏の説明では身近なところの寄り合いが例に出され、自治会総会などにも一戸に一人(主に男性)が出ていろいろな事を決めてくるが、家族



講師の吉田豊氏

に相談して決める事が無いというのが一般的で日本はこの傾向が強いそうである。何も違和感ももたずにいたが、指摘されてみてもそれほどに感じないのは長年の生活習慣のためか。男女共同参画が歴史的な事件とはよく言ったものだと感じてしまった。今現在の男女共同参画は、男性の考えももちろんだが、女性の女性に対する考えも問題となるようだ。性の違いを無視する必要は無く今までの男らしさ女らしさを変える事が重要、と言われた。男女共同参画と聞くと難しく思えるが、吉田氏のお話からは身近な人(主に旦那)が例に出てきて分かりやすく、和やかな雰囲気の中でお聞きする事ができた。



お話に引き込まれます

第七回 さつきと 蓼太花の句展 蓼太記念俳句作品

初夏を告げる恒例の資料館さつき展、第七回「さつきと蓼太花の句展」に、今年も町内4校の児童生徒の皆さんや一般の俳句愛好家の皆さんが総数450句の俳句を寄せてくれました。応募作品のうち、小学校・中学校の部は最優秀作品ならびに特選作品を、一般の部はこれに入選作品を加えて掲載します。

小学校の部

◆最優秀作品

コツバメは春一番を告げるチョウ

東小 六年 下澤天馬

雨の中いきいきするのはカタツムリ

北小 六年 三石太希

水仙が風にゆらゆら春の波

中央小 六年 西永梨恵

◆特選作品

みつけたぞながいたんぼばわらった

東小 一年 おおもりよしのり

フクロウは夜になるとおきてるよ

北小 一年 原なつき

メジロさんさくらははっぱとかくれんぼ

東小 二年 橋場和樹

はいくはね気分てんかんのしいな

北小 二年 井川和軌

一年生校長室に向かつてる

北小 二年 片桐たかなり

シジウカラすづくりしてるけをためて

東小 三年 市岡麗奈

カナヘビがバツタをねらってこわい顔

東小 三年 橋場 萌

一年生友だちいっばい作り中

北小 三年 大澤真由

帰り道石をどけたらありの列

中央小 三年 いたうゆうた

天の川流れつくのはどの岸か

中央小 三年 宮沢奈々花

春風が桜とともにおちてくる

中央小 三年 そね一よし

こいのぼり高くあがって竜になれ

中央小 三年 高田則生

動物が冬みん終えて目がさめる

東小 四年 市岡成親

きれいだねさくらがおちて雪のよう

北小 四年 岡部花音

つぼみ君そのかお早くみせてくれ

中央小 四年 木村真太

雨上がりキレイな虹が橋かける

東小 五年 大栗京華

ランドセル重たそうだな一年生

北小 五年 宮沢広な

一年生ピカピカかばん重いかな

北小 五年 大澤虹歩

たけのこよぐんぐんのびてぼくをこせ

中央小 五年 宮下友宏

草もちをたべながら見る次のもち

中央小 五年 倉田優人

弟はいよいよ一年うれしそう

中央小 五年 西尾 敢

桜あり防火訓練で散っていく

東小 六年 児玉月之助

一年生大きなカバン重いかな

北小 六年 米山英利

どこですかぼくの荷物は春風か

中央小 六年 木下 渉

小さな芽明日アスファルトから顔出した

中央小 六年 遠山健太

ばく笑だ毛虫におびえる母の顔

中央小 六年 勝野将輝

中学校の部

◆最優秀作品

たんぼぼといっしょに春の空を見る

松川中 三年 北澤歩実

◆特選作品

新学期つくしといっしょに背伸びする

松川中 一年 松下祐美

桜咲くどの桜にも個性あり

松川中 一年 萩野数貴

心色今にびつたり春の色

松川中 二年 杉田 舞

桜散り庭に吹雪くよ春の雪

松川中 三年 竹村郁哉

一般の部

◆最優秀作品

風なくも心の風鈴鳴りけり

高森町 木村喜久雄

◆特選作品

桜葉や陰あわあわし蓼太の句

松川町 宮澤友彦

◆入選作品

法要の煙とまどう春嵐

松川町 西澤清子

木漏れ陽に影一筋や春のラン

松川町 菅沼ますゑ

嬰の首すわりたり山笑う

松川町 池田美幸

声弾む孫の電話や「サクラサク」

松川町 米山 護

古雛や大正ロマンの匂いあり

松川町 岩崎久子

山笑う真下に電車音たてて

松川町 大下杉代

晩学や声高くよみ山笑う

松川町 北原泊瀬

雛祭り鎌倉の地で曾孫抱く

松川町 北原愛子

紙衣をはずせば雛の息づかい

松川町 矢沢さち子



(松川町資料館)

夏に向かってピーカンスポーツ!!

第9回 松川町団体対抗 バドミントン大会

6月8日(日) 第9回松川町団体対抗バドミントン大会が松川町民体育館アリーナを会場に行われた。
男子団体5チーム、女子団体6チームの合計11チーム総勢80人による熱戦が展開された。

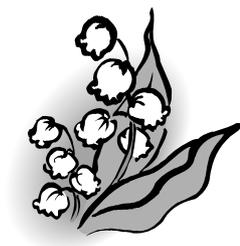
- 男子団体の部
- 優勝 松川B・C
 - 準優勝 ヨネックス
 - 3位 ブルースカイ

- 女子団体の部
- 優勝 松川B・C
 - 準優勝 バドをやっても
 - 3位 ちゃーみん・グーバンビーノ

第4回長野県小学生ソフトテニス学年別選手権大会

6月22日(日) 第4回長野県小学生ソフトテニス学年別選手権大会が南長野運動公園で行われ、町内からの参加者も元気にプレーした。

- 6年男子
- 優勝 宮島 一輝
 - 遠山 健太



春季桜山神社マレットゴルフ大会

5月30日(金) 春季桜山神社マレットゴルフ大会が桜山神社マレットゴルフ場にて行われ、男女95名が熱戦を繰り広げた。

- 男性の部
- 優勝 北澤 正一
 - 準優勝 大木島 巖
 - 3位 土屋 泉
 - 4位 矢澤 雅登
 - 5位 田口 照男

- 女性の部
- 優勝 小椋 洋子
 - 準優勝 唐澤みつ枝
 - 3位 伊藤寿美子
 - 4位 松下 幾恵
 - 5位 北林 朝子

古町地区公民館 ソフトバレーボール大会

6月15日(日)ソフトバレーボール大会が福与体育館で行われた。

- 優勝 古町南部
- 準優勝 古町中部
- 3位 古町北部
- 4位 古町東部

名子地区公民館 スポーツ大会

6月1日(日)ソフトボール大会が運動公園で、ソフトバレーボール大会が町民体育館でそれぞれ行われた。

- ソフトボール結果
- 優勝 名子原A
 - 準優勝 城北A
 - 3位 北名子

ソフトバレーボール結果

- ソフトバレーボール結果
- 優勝 宗源原
 - 準優勝 名子原A
 - 3位 北名子

- なしの部
- 優勝 城北A
 - 準優勝 城北B

いつもありがとうございます~公民館ロビー



山百合の会さんによる 百合



文化協会さんによる 七夕飾り

- 3位 下垣外西部

6月22日(日)バドミントン大会が町民体育館で行われた。

- りんごの部
- 優勝 城北A
 - 準優勝 名子中部
 - 3位 城北C
- なしの部
- 優勝 下垣外西部
 - 準優勝 北名子
 - 3位 城北B



生徒指導専門員

上 昭 昭 平先生

中央公民館内に7月8日「教育支援室」が開室しました。ここで、生徒指導専門員として相談や指導を行われるのが



上昭平先生です。おもな業務は不登校や不応の子供たちに対する電話や面接による相談と、適応指導だそうです。

先生は小、中学校の教員として県内各地で教鞭をとられたのち、教育事務所を経て4月から当町に勤務されています。

住まいです。ライフワークとして「言葉の取材」を続けられていて、気持ちのわき上がってくるような、人間関係につながる言葉を採っておられるそうです。「あまり楽しい男じゃないですよ」と謙遜されますが、お話をうかがっていると、物静かな雰囲気の中に優しい強さが感じられました。夢はという問いには、「この仕事で少しでも役に立てれば」とほえまれました。

就職、教育事務所での相談員、訪問指導員の経験を生かしたご指導をお願いします。

県内で公民館の広報誌「館報」の編集に携わる人たちが集まり、館報の作り方について学ぶ研修会が6月21日(土)木曾町の日義公民館で開かれました。県内の館報関係者100人以上が参加しました。

見出しが大切

午前・午後と一日にわたって開かれ、まず午前中は信濃毎日新聞社・読者センター長の津金直行さんの講演を聴きました。活字離れしている現代社会ですが、それでも少し

れている資料の見出しがとても見やすく自分でも無意識のうち目をつけていたことに気がついたとき、見出しの大切さにハッとさせられました。午後は参加者が4つのグループに分かれそれぞれに情報交換や技術の向上について

公民館編集部 光澤正之

学びました。この研修会に参加し、自分がいかに恵まれた環境で編集に関っているのかを感じた一日でした。

議会が主催するこの公民館報関係者研修会は毎年県内各地の持ち回りで開かれています。編集部員になってから4年目の私は、今回初めて参加しました。

でも大勢の人たちに読んでもらおうと努力されている新聞社のノウハウを館報へも活かしてほしいと、お話ししてくださいました。「まずは目を引く見出しを」と説明が書か

こぶしの詩

おはか参り
北小5年 大澤虹歩
おはか参りに行った
トラックの荷台に乗って
おはかまで行った
最初に花を花入れに入れた

少しだけ練香を立てた
はか石の横に字がほつてあったの
で見たら
「水な男90才」
と書いてある
「すごいなあ。」
わたしが言った。
お母さんは
「水な男きは、今生きていたら100才だに。」
と教えてくれた
100才を身近に感じたのは
初めてだ
百才はけっこうすごい
わたしも水な男さんみたいに
長生きしたいなあ

りんごとり
北小5年 宮澤数馬
りんごとりをしました
とり方は
下を上に向けてとります
コンテナを運びました
選果場を持っていくので
札を入れました
夕方になりました
すぐ暗くなりました
コンテナをおすが重かったです。
鳥につつかれているりんごがありました
でも
真つ赤なりんごがいっぱいありました
今年はいっぱいとれたかなあ
はやく食べたいなあ
あまいといいなあ

俳句

山田正歩

山百合の楚々と雑草従えて
降り立てば樹園も山も滴れる

雉鳩の声援届く袋掛

厄拂ふ太鼓の響き梅雨湿り

六月の花嫁祝う洋風化

短歌

自然破壊 橋本逸子

中国の四川地震の復興と
人命救助を願ひ募金す

記録的なガソリン値上げの影響は
我が家計簿に早あらわれぬ

買物には何時も袋を持ちてゆく
環境汚染気になりくれば

静寂な谷間に響く騒音に
破壊されゆく自然を思わる

花粉症を初めて患うこの時季も
あと少しかと鼻かみており



町の古民具 ④④ 麦の土入れ

視点

春先、麦の株に土をふるうのに使った道具。



声

ワード・エクセル実践編 公民館パソコン教室受講者

私は高齢者の仲間です。数年前脳卒中で倒れて入院し、幸い黄泉路から戻ってより余生を無駄なく楽しんで生きようと考えました。

そこで僅かな農業も体のリハビリと考えあえてやっています。以前ワープロで文書など作成していましたが、その

ワープロが古くなり新調しようと思ったら、もうパソコン時代でした。ある新聞で84歳の方がパソコン塾を開き講師をしているとの記事を見て、これは負けてはいられないと、

これだけ出来るかは別として、公民館の教室へ申込みをしました。しかしやはり年で眼が

初演！「中国武術表演会」

武術太極拳臥竜会

私たち武術太極拳臥竜会は体協に加盟し、会を発足させてから9年目になります。

この間、色々な活動を行ってきましたが本年8月に行われる北京オリンピックを盛り上げ中国武術の普及発展を願い、今回初めて表演会を開催しました。

武術は残念ながら種目減少の動きの中、北京オリンピックの正式種目にはなりませんでしたが同期間中、北京にて世界武術トーナメントを開催することになっています。

今回の表演会は全11種目をBGM付きで演じました。武術の種類は30種類ありと言われており、私たちが練習しているのはそのうちのごく僅かに過ぎませんが、各種の太

来て見てくれる有り難い存在でした。その講義もあつと云う間に終了しました。ところで覚えた積もりでも直ぐ忘れてしまう私ですが、やれば出来るというインターネット時代に適応できる様努力したいと思います。



極拳や長拳（カンフー）、刀術や剣術、扇術、棍術などを集団や少人数で行い、形のアレンジもするなどお客さんに楽しんで頂けるように構成にも工夫をこらしました。当日は雨にも関わらず多数の方がご来場下さり、カラフルな表演服のように私たちの心も晴々した発表会になったことを感謝申し上げます。

草

極端な大雨。極端な気温の上昇。いえ、夏に気温が上がらなくてもやっぱり温暖化の影響だと言われます。どう転んでも、もはや温暖化からは逃れられないようです。地球全体で生きられる人間の数は100億人が限界といわれます。それは100億人以上をまかなえる食べ物をご地球では生み出すことができないからです。もし日本が食糧の輸入を全て止め自給自足で暮らすとなると、食べ物も足りず生きられる人数の限界は3千万人と聞いたことがあります。ならば輸入は止められません。しかし地球全体で人口が飽和状態になったらどうなるでしょう。他の国も食糧難で輸出してくれなくなりま

す。おそろしい話です。と、暗い気持ちになりそうな中、火星や月に移住する話も夢の世界の話ではなくなってきました。何年後かわかりませんが、わずかな希望の光です。「他の星まで荒らすな」という声も聞こえそうですが、私にとってはとても興味深い話です。いつになるのでしょうか。

(光澤正之)

公民館報
「まっかわ」
第 537 号
平成20年 7月15日

発行所 松川町公民館
責任者 松村直彦
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)